

平成11年度第5回日本生物物理学会運営委員会議事録

日時：10月3日（日）11：45～12：45

場所：C会場（和光市文化センター会議室）

出席者：松本会長、郷次期会長、七田・川戸両副会長、桐野編集実行委員長、新田北海道支部長、太和田九州支部長、鈴木東北支部長、市川平成11年年会実行委員長、大木平成12年年会実行委員長、柳田平成13年年会開催地代表、木寺、楠見、桑島、栗原、重定、田之倉、豊島、中村、八田、由良各委員

報告事項

1. 生物物理若手の会夏の学校報告（松本） 資料：資料1

資料1に従って会計報告がなされた。生物物理学会から30万円の資金援助を行った。来年は7月に関東支部が中心になって夏の学校を行う予定である。

2. 賞・助成金推薦委員会報告（川戸） 資料：資料2

・第26回日産科学助成研究（奨励研究）に海野雅司氏と舘野高氏を、第26回日産科学助成研究（一般研究）を船津高志氏と精山明敏氏を推薦し、平成11年度島津賞に木下一彦氏を、第40回東レ科学技術研究助成には今元泰氏を、第40回東レ科学技術賞に藤吉好則氏を推薦した。

・平成11年山田科学振興財団研究助成に樋口芳樹氏が採択された。ノバルティス科学振興財団海外学会出席助成に寺田聡氏が採択された。

・顧問の方の任期満了の時期であることが報告された。現顧問の先生方に2期連続でお願いし、丸山先生以外は平成12・13年度の墨ヶ承を得た。丸山先生は辞退され、丸山先生推薦の3人（柳田敏雄、鈴木良治、稲垣冬彦各先生）を新たに顧問として推薦することが報告・承認された。

3. 生物科学学会連合第3回連絡会議報告および次期担当者の決定（川戸）

資料：資料3

・資料3にもとづき説明がなされた。実験動物の規制についてのガイドラインを無脊椎動物まで含める改定案に対し、生理学学会が対案を立て署名しているが言及された。

・来年の5月に会議が東京であるので、次期運営委員会からの代表は東京在住者が望ましいと申し送られた。

4. 第2・3回理学データネットワーク推進小委員会報告（中村） 資料：資料4
- ・平成11年7月7日と9月14日に会議があったことが報告された。学術会議への報告書の中の生物学分野は中村が書いている。2回ぐらいの集まりのあと、学術会議に報告書を提出する。最終的には学術会議の答申になる。意見は中村まで。
5. 第3回東アジア生物物理学会シンポジウム準備状況（郷） 資料：資料5
- ・スピーカーの推薦が記名投票で資料5の通りに決まったことが報告された。全部で12名。
 - ・スピーカーの人数がどのように決まったのかがはっきりしないことが郷次期会長より尋ねられ、インドの国際生物物理学会でのやり取りを柳田氏が説明した。数字の根拠ははっきりしていない。
 - ・事務的な手違いで First Circular の配布が遅れていた。郷次期会長がシンポジウム事務局長の Kang 氏から First Circular 700 部を取り寄せ、生物物理学会年会受付に準備したこと、また、ポスターも作成したことが報告された。中村委員が総会でも宣伝したほうがよいと提案し、郷次期会長が宣伝することになった。
6. 3研連3学会共催学術会議公開講演会について（郷） 資料：資料6
- ・日本学術会議公開講演会について報告された。生化学会、分子生物学会、生物物理学会で共同で行う。生物物理学研連から、西川氏（遺伝研）と郷氏（名古屋大学）が講演者として推薦された。
7. 平成13年度年会について（松本）
- ・阪大の柳田氏に大阪での開催を依頼したことが報告された。
 - ・柳田氏が吹田キャンパスでポスター発表で行う予定であることを説明した。すべてを口頭発表にする場合は吹田では難しい。年会に対する要望があれば出してほしい。
8. 事務室移転について（松本）
- ・9月7日のメールでのお知らせの通り、現事務室秘書の永田さんは12月末日をもって退職されることが報告された。
 - ・次期秘書の河合悦子さんが郷次期会長より紹介された。

議題

1 平成11年度中間決算報告の承認 (中村) 資料：資料7

・収入について、雑収入が大きく食い違うのは立替払いが現時点で清算されていないため。支出について、会誌出版費の増加は会誌の紙をよくしたためであることが説明された。運営委員会費の増加は浜名湖で合宿の運営委員会を行ったため。名簿は毎年作成しないが、名簿作成費を計上し毎年積み立てている。この中間掲載報告が承認された。

2. 平成12年度予算案の承認 (中村) 資料：資料8

・収入について、雑収入が増えていることが説明された。平成11年度は生物物理の最前線、ニューバイオフィジックス、学会誌バックナンバー、予稿集の売上のため。そこで平成12年度案では雑収入30万円の増加を見こんだ。他は例年どおり。

・支出について、会誌出版費の増額が説明された。繰り越し金を除いた収入と支出とに100万円の赤字があることが説明された。収入を右肩上がりにならなければならない。本を書く、会員を増やす等の努力が必要である。上記案が承認され、総会で提案されることになった。

3. 会誌編集行程改善についての報告 (桐野) 資料：資料9

・昨年の年末の会誌に印刷の問題があり、再発送したことについてリアライズ社の対応が説明された。リアライズ社の改善説明が第4回運営委員会で再提出になりリアライズ社に書きなおしてもらった。これからは前回ミスが起こった行程を省いたので、このようなミスはもう起こらない。この行程をなくしたことで印刷直前の原稿チェックがなくなることになるので、こちらで完璧な文書をつくる必要であることが説明された。リアライズ社からの報告書が承認された。

4. 前回の議事録(案)の承認について (松本) 資料10

・第4回運営委員会の議事録(案)が事務局の件は削除して承認された。会誌への掲載文は書記が作成し会長に渡すことになった。

5. 次期監事の候補者について (松本)

・翌日の新旧合同委員会においてH12・13年度監事として宝谷氏を松本会長から推挙する事が承認された。

6. 年会発表分類表について (大木) 資料：資料11

・発表分類キーワードの選択をどのようにするかが議論された。大木実行委員長が旧発表分類表を分野別専門委員会で配布し広く意見を求めることを提案された。太和田九州支部長が今年分類表も同時に配ることを提案された。郷次期会長より最終的には運営員会で決定する必要があることをコメントされた。たたき台を第2回運営委員会までに作成することが決まった。

7. 3研連3学会共催学術会議公開講演会の経費負担について (郷)

報告6にあるシンポジウムの経費について、各学会が10万円ずつ負担してほしいという申し入れがあったことが説明され、承認された。

8. 日本物理学会生体物理分科会の次期世話人候補者の決定 (中村)

・運営委員会の構成員である東北大学の鈴木誠氏が上記候補者に推薦され、承認された。